

継手受口部の熱変形

事例写真



原因

- 屋外に放置された状態で保管されていたため直射日光により、環境温度が上昇し製品の軟化温度以上※¹になり、自重で変形。
- 車中内で長時間放置されたことにより温度上昇※²の影響を受け変形。

※1 外気温・直射日光・密閉された状態（ビニル袋・車中など）で、異常な温度上昇（製品の軟化温度に達したこと）が起因したものです。

※2 外気温35℃の炎天下で、窓を閉め切った状態にした車中で3時間経過したときの車中温度が70℃以上となった研究結果もあるほど真夏の車中温度には注意が必要です。

対策

- 作業環境で熱源となるものがないか事前ご確認ください。
- 製品を保管される場所は、塩ビパイプの場合、シート掛けをし、継手類の入った段ボールは直射日光を避け冷暗所で保管ください。
- 高温で密閉された状態（夏場の車中や密閉されたポリ袋の中など）で製品を放置しないでください。

